

1 教育目標（目ざす児童像含む）

○ よく考え、学ぶ子ども（知） ○ 自分を見つめ、つくせる子ども（徳） ○ 明るく、たくましい子ども（体）
 ～ かしこく・やさしく・たくましく ～

2 学校経営の理念（目ざす学校像含む）

自他の幸せの実現を目指し、変化の激しい21世紀を力強く生き抜くたくましい子どもの育成を目指す。そのために学習面においては、きめ細かな指導により基礎基本の徹底を図るとともに、認め合い、学び合う集団づくりに努める。生活面においては、積極的なあいさつの励行や時と場に応じた言葉遣いの指導など、礼儀正しく、誰に対しても真心をもって接する態度を育てる。また、地域、保護者との一層の連携を図り、地域に開かれた信頼される学校づくりに尽力する。

3 学校経営の方針（中期的視点）

- ・「上河内地区小中一貫教育・地域学校園」における児童生徒健全育成のテーマに沿って、本校を取り巻く地域の教育力を最大限生かした教育活動を展開する。
- ・あらゆる教育活動において、自分の考えを堂々と表現できる力の育成に努める。
- ・授業における個に応じたきめ細かな学習指導と、学習形態や意見交換の場の工夫による児童相互の学び合う環境づくりに努める。
- ・基本的生活習慣の徹底を図り、気持ちのよいあいさつや返事ができる、思いやりの心にあふれる児童の育成を図る。
- ・魅力ある学校づくり地域協議会等、学校支援者や支援団体との連携強化により、地域の特色を生かした学校運営に努める。

4 今年度の重点目標（短期的視点）

～基礎基本を身につけ、主体的に学ぶ子どもの育成～

- （学校運営）・地域の教育力を生かした、開かれた学校を目指す。
- ・教職員の資質向上を図り、信頼される学校を目指す。
 - ・特別支援教育の理解の徹底と、個に応じた指導の充実を目指す。
- （学習指導）・言語活動を通じた思考力、判断力、表現力の育成
- ・小中一貫乗り入れ授業を通じた、学習面で解決を図る課題の明確化
 - ・効果的な家庭学習による主体的な学習習慣の定着化
- （児童指導）・学校や社会のルールやマナーを守り、相手のことを考えて生活できる児童の育成
- ・基本的生活習慣を身につけ、ルールを守って行動する児童生徒の育成
- （健康・体力）・自分の体に関心もち、進んで健康・体力の向上に励む児童の育成
- ・教科体育の充実と水泳検定票の工夫

5 自己評価（Aは共通評価指標、Bは学校独自評価指標）

（評価指標の〔全〕は、全体アンケート実施）

（「主な具体的な取組の方向性」には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入）

項目	評価指標	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	A1 学校全体に活気があり、明るく生き生きした雰囲気である。〔全〕 【数値指標】 全体アンケート 「私は今の学校が好きです」 ⇒児童の肯定的回答80%以上 「学校全体に活気があり、明るく	① 「かしこく、やさしく、たくましく」の合言葉の浸透を図り、笑顔と活気のある楽しい学校づくりを進める。		
		② 学校行事では、児童が協力しながら主体的に活動する場を設定し、明るく生き生きと取り組ませる。		

くいきいきした雰囲気である。」 ⇒保護者肯定的回答８０％以上	③ Q-Uの結果を分析し、支援が必要な児童を把握したり、日頃の観察をきめ細かに行ったりして児童一人一人が生き生きと学校生活を送ることができる学級経営を行う。	
A2 教職員は協力し、児童のよいところを認め、教えるべきことを熱心に指導している。〔全〕 【数値指標】 全体アンケート 「先生は大切なことを熱心に教えてくれる」 ⇒児童の肯定的回答８０％以上 「教職員は協力し、教えるべきことを熱心に指導している」 ⇒保護者肯定的回答８０％以上	① 学級を学びに向かう集団に高めながら、児童一人一人が自らの力で様々な不適応を解消し、意欲的に学習活動に取り組めるように指導・援助する。 ② 職務の遂行に当たっては、キャリアや専門性、特性を生かし、見通しをもって創意ある取組を目指す。 ③ 保護者や地域住民へ、児童の様子の紹介や協力依頼の発信など進んでコミュニケーションをとり学校教育の理解を促す。 ④ 来校者・電話・連絡帳などでの問い合わせには、速やかに丁寧に対応する。 ⑤ 服務規律を守り、信頼される教職員を目指す。	
A3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している。〔全〕 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」 ⇒児童の肯定的回答８０％以上 「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」 ⇒保護者肯定的回答８０％以上	① 児童が正しく判断し責任ある行動がとれるよう、その姿を「よい子の生活」に示し、学習と生活のきまりの徹底に努める。 ② 生活当番は、秩序があり安全な学校生活を実践できるよう週生活目標を設定し、掲示や放送、校内巡視などを行って意識づけをする。 ③ 避難訓練(火災・地震・不審者)、交通安全教室、防犯教室の実施や、「子ども１１０番の家」への理解等を通して、危機管理能力を高める。	
A4 教職員は、分かりやすい授業や一人一人へのきめ細かな指導をしている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケート	① 授業のねらいを明確にし、児童の関心や理解を促す教材開発や分かる授業のための指導法の工夫に努めると共に、共有化を図る。	

「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」 ⇒児童の肯定的回答８０％以上 「教職員は児童一人一人が理解できるように教材を工夫するなど、きめ細かな指導をしている」 ⇒保護者肯定的回答８０％以上	② 習熟度別学習や少人数指導、ＴＴ指導、かがやきルームやなかよし学級での個別指導等を通して、児童一人一人の学習状況に応じたきめ細かな指導をする。	A	
A5 学校は、いじめ対策を積極的に公表し、熱心に取り組んでいる。 〔全〕 【数値目標】 全体アンケート 「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。」 ⇒児童の肯定的回答８０％以上 「学校はいじめ対策を積極的に公表し熱心に取り組んでいる」 ⇒保護者肯定的回答８０％以上	① 「いじめ防止基本方針」を策定し、保護者および地域に周知するとともに、方針に沿っていじめの防止に努める。 ② いじめの早期発見・早期対応のため、年度当初にいじめの実態調査の日程を決めて定期的を実施して実態把握に努めるとともに、年に２回定期教育相談を実施して問題の早期発見や信頼関係の醸成に努める。		
A6 学校の日課、授業、行事などは、適切に実施されている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケート 「私の学校生活や様々な活動は充実している」 ⇒児童の肯定的回答８０％以上 「学校の日課、授業、行事などは、適切に実施されている」 ⇒保護者肯定的回答８０％以上	① 日課は、子どもにとってゆとりと秩序のあるものになるよう適切に実施する。 ② 新学習指導要領及び小中一貫教育の趣旨を踏まえ、学校スタンダードに示す取り組み実践するよう、各教科等年間指導計画・各種教育年間指導計画を見直すとともに、本校独自の教育活動を推進する。 ③ 学校行事は、その都度評価し、改善すべき点について検討して次年度に生かす。		
A7 学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している。〔全〕 【数値指標】 全体アンケート 「学校は学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している」	① 学校だより、学年だより、保健だより、図書館だより、食育だより等様々なたよりの作成において、関心を高める紙面の工夫に努めながら積極的に発信提供したり、ホームページを適宜更新したりして、保護者や地域住民に学校の取り組みを知らせる。		

	⇒保護者肯定的回答 80%以上	② 授業参観、学校自由参観日、学校行事等において積極的に保護者や地域住民に学校を公開し、アンケートを実施して保護者や地域住民の意見を学校経営に反映させる。	
A8	学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケート 「私は、地域や企業の方々と一緒に活動することで学習が充実し、楽しい」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 「学校は家庭・地域・企業等と連携・協力して教育活動や学校運営の充実を図っている」 ⇒保護者肯定的回答 80%以上	① 学校支援ボランティアの活用や出前授業、校外学習などにおいて地域の人材や施設・設備等の教育力を生かした学習を充実する。 ② 「魅力ある学校づくり地域協議会」において、児童の健全育成を目指し、学校・家庭・地域の連携を深める事業を推進しながら交流の輪を広げる。	
A9	学校は、清掃が行き届き、荷物や備品などが整理整頓され、学習しやすい環境である。〔全〕 【数値指標】 全体アンケート 「校内は、学習にふさわしい環境となっている」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 「学校は、荷物や備品が整理整頓されるなど、学習しやすい環境である」 ⇒保護者肯定的回答 80%以上	① 校舎内外の美化に努め、児童自ら日常的に清掃活動に取り組むよう支援し、快適な学習環境作りを目指す。 ② 日々校舎内外の巡視をするとともに、月1回施設・設備の安全点検を実施し、必要な箇所の修繕を迅速に行い学習環境の整備に努める。 ③ 適切に予算を執行し、指導計画に基づいて教材教具を整備してその適切な活用と管理に努める。	
B1	教職員は情報を伝え合い解決に向けてそれぞれの役目を果たしている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケート 「情報を伝え合い解決に向けてそれぞれの役目を果たしている」 ⇒教職員の肯定的回答率 80%以上	① 管理職及び職員間の報・連・相を大切にし、互いに声をかけ合うと共に、「報・連・相」を心がけ共通理解に努め協力し合う。 ② 問題行動発生時には、校長のリーダーシップのもと全職員が連携して組織的に取り組み、誠意ある対応を心掛ける。	

教育活動の状況①	生活	A10 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、時や場に応じたあいさつをしている」 ⇒児童・保護者の肯定的回答 80%以上	① 各学年の「あいさつ名人」表彰や、地域協議会のあいさつ運動で意識を高めながら、日々の生活指導の中で明るいあいさつや元気な返事ができる子の育成を目指す。	
		A11 児童は、時と場に応じた言葉づかいをしている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、時と場に応じた言葉づかいをしている」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 「児童は、大人に対して適切な言葉づかいをしている」 ⇒保護者・地域住民の肯定的回答 80%	① 相手の気持ちを考えた言葉づかいや場に応じた言葉づかいができる子の育成を目指し、生活と学習の両面から日常の指導を充実させると共に、道徳の時間の重点項目に掲げて指導の徹底を図る。 ② 朝の会や会話科、学級活動等で、時や場に応じた適切な言葉づかいができるよう、学年の発達段階に応じた指導をする。	
		B2 児童は学級や縦割り班の活動などで、仲よく助け合って生活している。〔全〕 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、縦割り班の活動で仲良く助け合って生活している。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 日々の清掃活動や学校行事、月1回の異学年遊びなどで、縦割り班での活動の機会を設定し、学年の枠を超えて協力して仕事や活動ができるようにする。	
		A12 児童は、休み時間や放課後などに積極的に運動している。〔全〕 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、休み時間や放課後などに積極的に運動している。」	① ミニマム達成のための運動プログラムを実施して運動の日常化に努めながら、教科体育においては授業の開始に当たってサーキットトレーニングを実施し個に応じた体力づくりに努める。	

健康・体力	後などに進んで運動している」 ⇒児童の肯定的回答８０％以上	② 学級においては、水曜日のロング昼休みに共遊の時間を確保するように努め、体力向上を目指すとともに学級の人間関係の構築を図る。	
	B3 児童は早寝、早起きの習慣が身に付いている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、早寝、早起きの習慣が身に付いている」 ⇒児童・保護者の肯定的回答８０％以上	① 「早寝・早起き・朝ごはん」の重要性について啓発を進めるとともに、早寝・早起きの習慣の定着の様子を把握し、実態に応じて基本的な生活習慣の確立に努めたい。	
	A13 児童は、好き嫌いなく給食を食べている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、好き嫌いなく給食を食べている。」 ⇒児童の肯定的回答８０％以上 「自分の子どもは、好き嫌いなく食事をしている」 ⇒保護者の肯定的回答８０％	① 学校栄養職員の取組みを生かし、教室やランチルームでの給食指導の充実を図ったり、保護者への啓発に努めたりしながら、望ましい食習慣を育て食事のマナーを身につけさせる。 ② 食事をとることの大切さについて、学年に応じた授業を通して理解を深め、自ら実践する態度を育てる。	
	学習 A14 児童は、授業中に進んで話し合い、分かちやすく発表するなど積極的に学習している。〔全〕 【数値指標】	① 授業では、聞く態度の定着を基盤に、基礎・基本の徹底を図るとともに、様々な学び合いの中で「練り合う」場面を設定し、「話す」力を高めながら、自分の考えを堂々と表現できる児童を育てる。	

	全体アンケート 「児童は授業中に進んで話し合い、分かりやすく発表するなど積極的に学習している」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	② 学び合いの場面では、友達の考えを参考にしたり、比較したりしながら、自分の考えをまとめ、表現する力の育成に努める。	
	B4 児童は自主的に学習に取り組むなど、学習習慣が身に付いている。 〔全〕 【数値指標】 全体アンケート 「児童は自主的に学習に取り組むなど、学習習慣が身に付いている」 ⇒教職員・児童・保護者の肯定的回答 80%以上	① 職員間で共通理解を図り、児童が自主的に学習に取り組めるように自主学習ノートや音読カードなど、具体的な方策を立て継続して指導していく。 ② 年度当初に全家庭に家庭学習についての共通理解を図るプリントを配布し、家庭と連携を図りながら、(学年×10分)の家庭学習を实践させる。	
	A15 児童は、授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している。 〔全〕 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している」 ⇒児童・保護者の肯定的回答 80%以上	① 学習の基盤となる学習態度や学習技能を身につけるために、学校全体で「学習のきまり」を決めて継続して取り組み、系統的発展的指導に努める。 ② 「話の聞き方」については、全教育活動を通して、学年の発達段階を踏まえつつ、全職員による共通理解のもとで育成する。	く。

本校の特色・課題等	B5 食農体験活動は、農業や食の理解や関心を深めるために大切な活動である。〔全〕 【数値指標】 全体アンケート 「食農体験活動は農業や食への理解や関心を深めるために大切な活動である」 ⇒児童・保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上	① 全児童が食農体験事業で田植えや稲刈りを体験したり、5年児童が総合で稲の観察や世話などを実践したりすることで農業や食への理解や関心を深める。	
------------------	--	--	--

〔総合的な評価〕

※地域学校園内で共通する方針・重点目標・取組に関わる内容は文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

6 学校関係者評価

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）